PETER DAVID BETER・音声書簡 第53号

1980年1月21日

テーマ1 戦争の緊張とイランの後期シャー

1 1月17日のテレビインタビューでは、元シャがパナマ語で話しているのが見えた。



2 元外交官のジョセフ・シスコは、この男は自分が知っていたシャーとは違っていたと述べました。



3 Beter氏はインタビュー対象が人間らしい合成ロボットだと主張した。



4 さらに、12月2日のニューヨークへの移動中に、本当のシャーが殺されたと主張する。



5 シャーのニューヨークからテキサス、パナマへの移動は人質危機と結びついていた。



6 ロシアのロボティクスとボリシェヴィキ合成の対比が強かった。



7 インフレや不安定、紛争を恐れた投資家が急増した。



8 イランやアフガニスタン周辺では戦争のレトリックが強まった。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第53号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第53号

1980年1月21日

テーマ2 クレムリンの強硬路線がサプライズを乗っ取る

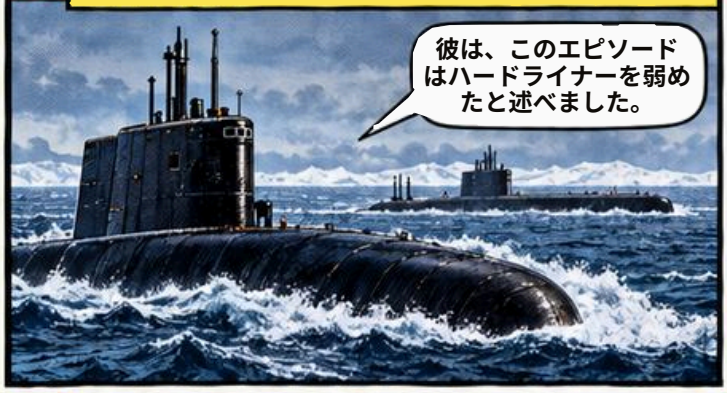
1 ベターは、1978年以来、隠されたクレムリン平和派がソビエト==！



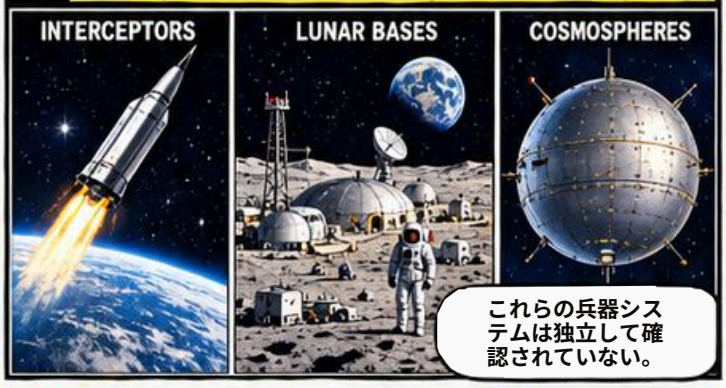
2 彼は核戦争を避けることができるかどうかで分裂した秘密のキリスト教支配派について説明した。



3 ベターは1976年の水中ミサイル危機を思い出した。



4 彼の物語は、スペース・トライアド(英語版)(Space Triad) を中心とし、インターセプター、月面基地、球面宇宙圏などであった。



5 平和派の主要人物は毒殺され、人間らしいロボイドに置き換えられたと、彼は主張する。



6 彼は平和派をSALT IIと軍縮戦略と結びつけた。



7 アフガニスタンにおけるソビエトの介入は1979年12月に国際風土を変化させた。



8 ベターはクレムリン・ハードライナーズがゴルシュコフ提督の下で指揮を執ったと述べた。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第53号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第53号

1980年1月21日

テーマ3 現在進行中の核攻撃作戦は

1 NATO大臣は1979年12月に新型劇場核ミサイルの計画を認めた。



2 アフガニスタンの後、カーターは穀物禁輸令を発し、オリンピックボイコットを脅かした。



3 途中、キティホークとニミッツの空母部隊がアラビア海近くで活動した。



4 ベターは、ソ連海軍の動きは意図的な反撃の一部であると主張した。



5 彼は、ハイブリッドサブクラフトが北部海域とカスピ海からロシアに接近したと主張する。



6 ベターは、球面の宇宙圏は粒子ビームでサブクラフトを破壊したと述べた。



7 また、ソ連軍の標的に対する攻撃のために新江にパイロットレス機が配置されているとも主張した。



8 イランとアフガニスタンをめぐる本当の危機は深刻なエスカレーションリスクを伴った。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第53号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。